

# 観光

\*\*\*\*\*

提案・意見

駅のアナウンス等について

最近、サミット開催の影響からかプラットフォームでは英語によるアナウンスがされており、とても観光客に優しいと思います。

しかし、中国語やスペイン語、ポルトガル語、韓国語での案内もするようはたらきかけてください。

それと、外国人観光客がバスに乗りやすくするために、バス停にも鉄道同様に記号表記をしたらいかがでしょうか

あと、伊勢市の駅前に安心して宿泊できるような大手のホテルチェーンが営業する宿泊設備がありません

こちらの誘致をしたらいかがでしょうか

最後に外貨を日本円に、その逆にも両替できるような両替所 トラベレックスのようなものを外宮前などに誘致しては如何でしょうか

## 回答

ご提案ありがとうございます。

早速、鉄道会社へ英語のアナウンスへのお褒めのお言葉とともに、多言語での案内のご提案をお伝えいたしました。

バス会社につきましては、外国人がスムーズに移動できるように順次記号表記を含め対応を進めていると伺っております。

また、伊勢市駅前のホテルにつきましても、ホテルチェーンが以前三交百貨店のあった場所に平成28年末ごろ開業予定と伺っております。

外貨両替所は、現在外宮周辺も含め市内にいくつかございます。まずはこの情報を海外からのお客様に知っていただけるよう、観光施設への周知や現地での情報発信に力を入れさせていただきます。

ご提案ありがとうございました。

担当課

観光振興課

# 防災

\*\*\*\*\*

提案・意見

宅地の適地開発について

東日本震災による津波被害は想像を超えるものでした  
黒瀬近傍には杜の宮南側未開拓地、貝吹山、光の町東側未開拓地  
といった高台が未開拓の状態でのこっています  
将来くるであろう津波からの被害を回避するためにも高台へ移転  
できるように住宅土地開発公社等による開発誘致を働きかけてはい  
かがでしょうか

回答

このたびは貴重なご意見をいただきありがとうございました。  
三重県においては、南海トラフ地震等の被害の低減に向けた都市  
計画の基本的な考え方を示す「三重県地震・津波被害の低減に向け  
た都市計画指針」を策定中で、本市としても来るべき大規模災害へ  
の備えは、必要なことであると認識しています。  
お尋ねの開発誘致についての取り組みはございませんが、今後も  
大規模災害等に強い都市の形成を図るため都市基盤に対する対策な  
ど、都市の防災機能の強化を図り、被害の軽減や迅速な復興に向け  
て、様々な取組を進めてまいりますので、ご理解賜りますようよろ  
しくお願いいたします。

担当課

都市計画課

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

組体操の安全対策について

先日、小中学校での組体操について、意見及び要望を行いました。

その際、具体的な回答を頂けず、残念です。

再度、質問と要望を送らせて頂きます。

組体操について、実施状況や事故に関する調査を行ったとのことですが、その報告書は、教育委員会に提出したのでしょうか？

調査の報告書を、webサイトに公開して欲しく思います。

平成27年度後半より定例教育委員会において、組み体操について複数回の議論を重ねたとのことですが、いくつか質問があります。

組体操が議題に上がった定例教育委員会の正確な日時を、全て教えて下さい。

組体操が議題に上がった時の議事録がwebサイトに見当たりませんが、教育委員会では議事録を作成しないのでしょうか？

議論の時に、安全対策として参考にしたガイドラインや教則本などの資料があれば、教えて下さい。

前回の回答では、注意喚起を行ったとしか記されていませんが、運動会で組体操の実施に際し、各学校に安全対策として、具体的な措置を行ったのか、教えて下さい。

事故が起きた時の対処法を、教えて下さい。

これは、こどもの安全に関わることなので、回答のほど、よろしくおねがいします。

## 回答

子どもたちの安全についてご心配いただき、ありがとうございます。

組み体操についての学校からの実施状況調査の結果及び事故に関するけがの状況については、協議会資料として教育委員に提出しているものでございます。教育委員会の要旨につきましては、伊勢市ホームページに掲載しておりますが、現在12月の定例教育委員会までの要旨が掲載されている状態です。組み体操については、10月以降毎月の定例教育委員会協議会において議論されておりますが、協議会については議事録作成の対象外となっております。

参考資料としましては、三重県教育委員会の組み体操にする対応（案）やホームページに掲載されている他市のガイドラインを教育委員会に提出しました。

運動会における事故防止の注意喚起については、子どもの安全を最優先するよう、各校に対して文書にて行いました。また運動会に限らず、毎年、体育活動時の安全指導について、教職員が事故防止及びけが等への対応ができるよう、学校に配布しているDVDや資料の活用を依頼しております。各校においては独自で緊急時の対応マニュアルを作成したり、三重県教育委員会の危機管理マニュアルを活用したりして、緊急時や事故が起きたときの教職員の対応について共通認識を図っております。

ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

担当課

学校教育課

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

小中学生に災害時の行動の知識を与えて欲しい

先日、伊勢湾沖にて地震が起きました。

そこで、災害について要望したいことがあります。

災害発生後、避難所にて様々なことに対応する必要があるが出てくると思うのですが、避難所を学校施設にしている所がほとんどな事を考えると、対応する人間は大人とは限らないと思うのです。

中学生でも負傷者の応急処理ができるように、救命講習を受けさせて欲しいと思います。

現在、小中学校では救命講習について、どのような事を行なっているのでしょうか？教えて下さい。

中学校3年間で、AEDの操作方法を全ての生徒が1回は体験する。止血法を体験するなど、救命講習を体験させて欲しいと思います。

小学生及び中学生に、役割分担を決めることの重要性を教えて欲しいです。

避難所生活ではどのような問題が起こり得るのか、そのために何が必要なのか等。

役割分担は、平時の社会生活でも重要なことだと考えます。

小学生及び中学生に、救助のために外部との連絡方法を教えて欲しいです。

家庭で被災した場合、学校に避難した場合、どのようにして外部と連絡をとれるのかを、みんなで考えたり手段を探して欲しいと思います。

市役所からは、避難所に指定している所には、どのような連絡手段があり、機器の使用法や使用説明書の場所を教えて欲しいです。

よろしくお願いします。

## 回答

ご意見をいただき、ありがとうございます。

小中学校でのけがの応急手当や救命講習についてお答えいたします。

小学校の体育の学習指導要領においては、高学年では、けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにすることとなっております。教員が体育の授業や学級での保健指導において、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの簡単なけがの手当ての方法があることを理解させ、すり傷、鼻出血、やけどや打撲などを適宜取り上げ、実習を通して簡単な手当ができるように指導します。中学校の保健体育の授業では、交通事故や自然災害などによる傷害における出血、捻挫や骨折の応急手当を学習することとなっております。また、多くの中学校においては、病院の看護師等による救急救命講習会を開催し、主に心肺蘇生の方法やAEDの操作について実際に体験し、身につける機会を設けています。

このように、小中学校においては、子どもたちの発達段階に応じて、傷害の防止やその対応について学習しています。

また、災害発生時には大人、子どもを問わずすべての人が、何ができるか、すべきかを判断し行動できることが重要であると考えます。

小中学校で活用している三重県教育委員会作成の「防災ノート」には避難所での生活について学習するページがあり、このような教材も用いて災害発生時の対応について、さらに学習を進めてまいります。

ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。

(学校教育課)

一般的に大規模な災害時には、電話は不通になり外部との連絡がとれなくなります。市は避難所のうち小中学校、福祉センターなど主要な避難所50箇所には災害対策本部との連絡を取るために高出力トランシーバーを配備しています。このトランシーバーは昨年度実施した津波避難訓練で地域の方にも使っていただいております。今後も訓練等の際には使用方法をご説明し、啓発に努めていきたいと考えています。

現在、避難所には個人用の連絡手段は整備していません。このため、ご家庭での災害時の備えとして、避難する場所や連絡方法などを事前に話し合い決めておくことが大切です。また、災害時には、N T Tが「災害時伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板we b 171」などの災害用伝言サービスを提供しますので、これらをご利用することでご家族と連絡をとることができます。

(危機管理課)

担当課

学校教育課、危機管理課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

雰囲気大切にしてください

先日、本庁で大変おこっぴりした目撃情報を目にしました。市役所のかたと意見か何かを交わしているようです。

伊勢市をよくしたいという気持ちは伝わりますが、市役所の中の雰囲気なども大切にしてほしいです。

お客様います。

回答

市では、来庁される方々が安心してご利用いただける市役所をめざして接遇については気をつけてきたところです。今回このようなご意見をいただき、大変申し訳なく思います。

今後は、さらに市役所全体の雰囲気にも気を配りながら、来庁される方々が安心して快適にご利用いただける市役所をめざして接遇に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

ご意見ありがとうございました。

担当課

職員課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

お伊勢さんマラソンのエントリーの件

市役所職員さんが特別に一部参加費上のせして申し込みを受け付けていると聞きました。

個人でエントリーせず、自動的に参加している人たちもいるのでしょうか？ 本当でしょうか？

他の人たちは まじめに申し込みして、走りたいのに走れない方もおられました。

もし本当なら、少し淋しいです…

## 回答

この度は「お伊勢さんマラソン」のエントリー方法についてのご意見をいただき、ありがとうございます。

ご指摘いただいた事柄につきましては、事実ではなく、そのような事柄はございませんが、グループで参加される場合に、参加者分の申込書を取りまとめ、代表者が窓口で申込をすることはあるかと思われまます。

また、インターネットでの申込についても、ランネットでは「お仲間エントリー」として代表者がご家族やお友達をまとめてエントリーすることが可能となっております。

おかげをもちまして、「お伊勢さんマラソン」は、毎年多くの方々にご参加いただいております。近年は、申込開始後すぐに定員に到達する種目もあり、エントリー開始時間前には、たくさんの方が窓口等で順番を待っていただいている状況もあります。

大会事務局といたしましては、できるだけ、たくさんの方に参加いただけるよう、「お伊勢さんマラソン」のエントリー方法についても窓口受付、インターネット、専用電話、Famiポートなど各種申込方法を用意して先着順で申込を受け付けています。

このような状況から、事務局として、前年度参加者の方に対して、募集要項を事前に送付し、できるだけエントリー開始日に申込をしていただくよう働きかけをおこなっておりますので、何卒ご理解の程、よろしく申し上げます。

担当課

観光振興課



## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

新しい伊勢病院について

新しい伊勢病院の工事がようやく進み、大変嬉しく思います。ケガや病気で苦しんでいる市民、いつくるか分からない東海大震災の災害者が安心して治療が出来る場所として、一日も早く完成を祈っています。さて、以前からずうと思っていたのですが「市立伊勢総合病院」という名称が、大変言い苦く、市民の内、正式名称を知っている方はとても少ないと思います。病院が新しくなるこの機会に子供からお年よりまで、誰でも覚えられる新しい名称にして頂きたいと強く希望します。『伊勢市民病院』など、市民に親しみやすく、誰にでも言いやすい名称が良いと思います。ご検討の程何卒よろしくお願ひします。鈴木市長さんになられてから伊勢が明るく元気に動き出している感じがします。小さな子供からお年よりまで、伊勢に住んでいることに誇りと喜びと幸せを感じる町づくりをこれからも応援しています。

## 回答

平素は市行政・病院事業にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

平成27年12月より新病院建設地の軟弱地盤対策として、造成工事を行っており、平成28年度での本体工事の着工を目指しております。新病院では大規模災害時に地域の拠点となる機能を確保する予定です。工事期間中はご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。

ご提案いただきました病院名称についてですが、当院は、昭和20年に「健民館」と称して開設以来、「宇治山田市民病院」、「伊勢市民病院」と改称し、さらにその後、総合病院として認可されたことにより現在の「市立伊勢総合病院」に改称をいたしました。皆様には市民病院として伊勢病院などの愛称で呼んでいただいていることと思ひます。

新病院建設は大きな転機でありますので、名称につきましては、市民の皆様にも永く愛され、親しまれるよう、平成30年の開院に向けて検討を行って参りたいと考えております。今後も愛情と誇りを持つ病院を目指して建設事業を進めてまいります。

ご提案ありがとうございました。

担当課

新病院建設推進課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

伊勢市民病院の建替えの件

伊勢市民病院の建替えが決まり、準備の段階に入っているようだが、費用が当初より増えてきているように聞いている。日赤も新しく出来ているのに本当に伊勢病院が市民にとって必要なものなのか、もう一度検討してもらいたい。

多額の税金を投入するのだから、建設したがあまり利用者がいないでは困る。

医師の確保、医療設備の導入等まだまだ費用がアップする。検討されつくしているのか。

## 回答

病院事業に対する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

新病院の建設事業費は、昨今の建設コストの高騰などを受けて、基本設計完成時に見直しを行っております。

伊勢地域には、二次救急病院である市立伊勢総合病院以外にも三次救急を担う伊勢赤十字病院がございますが、今後、高齢者人口が増加していく中では、地域に不足する医療を支えるため、伊勢総合病院は必要と考えております。

新病院では、一般病棟における急性期医療をはじめ、地域に不足している回復期リハビリテーション病棟や緩和ケア病棟、療養病棟の整備を行うことにより、市民病院として切れ目のない医療を行ってまいります。

建設事業費について、ご心配をおかけしておりますが、地域医療を支えるため、新病院に向けて、建設工事着工を目指してまいりたいと考えておりますので、ご支援頂きますよう、よろしくお願いいたします。

担当課

新病院建設推進課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

現業の嘱託職員について

現業の正規職員採用のない中、嘱託職員の雇用で仕事をするなか、正規職員とほとんど変わりのない仕事内容のなか賃金の格差がありすぎです。

ボーナス、退職金など充実にさせて嘱託職員にも安定した雇用をお願いします。

入ったばかりの嘱託と10年以上続けている嘱託でも同じ月給ではかわいそうです。

回答

嘱託職員の賃金につきましては、業務内容等を精査させていただき決定しておりますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

ご意見ありがとうございました。

担当課

職員課